

令和2年度文部科学省委託事業「ユネスコ未来共創プラットフォーム事業」
令和2年度ユネスコスクール中四国ブロック大会 開催要項

1. 背景

岡山県では、2014年に岡山市で開催された「ESDに関するユネスコ世界会議」の高校生フォーラムを契機として、ユネスコスクールに加盟する県内の高校によるネットワークが形成されている。これはユネスコスクール担当の顧問教員によって発案されたもので、岡山大学大学院教育学研究科ESD協働推進室および岡山市のサポートを得ながら発展してきた。加盟校は公立・私立あわせて10校で、現在では県の教育委員会に公認され、会長および事務局は学校長および高校の輪番制となっている。そして鳥取県や島根県のユネスコスクールの高校も参加するようになっている（現時点ではオブザーバー）。

このネットワークの最大の特長は、ユネスコスクールを卒業した大学生が再びこのネットワークに「学生スタッフ」として参画し、自分自身の後輩たちのESDの実践交流会やそれに向けての学習会を支援していることである。小中学生あるいは高校生の頃にESDに取り組み、大学生となった若者が、今度は学生スタッフとして高校生のESDを支えている。顧問の高校教員は交代しても、ネットワークの若者がしっかりとフォローし、毎年のESDの実践交流会を成功へと導いている。

このようにしてユネスコスクールをはじめとする学校のESD活動の継続を図ること、そして学生スタッフがESDの担い手となる若者や若手教員としてさらに成長・発達することは、ESDの継続・発展にとって大変重要である。これはユネスコスクールを起点とした「持続可能なESDの仕組みと仕掛け」の範例である。そしてこうした仕組みと仕掛けは、広島県や愛媛県をはじめとして中四国地方の各県においても、それぞれ特長をもって次第に整ってきている。

2. 内容

今回の中四国大会では、学校内、学校間、および学校と他機関や地元地域との間における「持続可能なESDの仕組みと仕掛け」を主題として、経験を共有し、振り返り、その意義について考える。内容は、以下の通りである。(1)岡山県から上記のネットワークに参画するユネスコスクール卒業生と高校教員の自分自身の学びについてのリレートーク。(2)広島県と愛媛県からそれぞれ特長をもった仕組みと仕掛けについての報告。(3)ESDの国際的な潮流を踏まえた仕組みと仕掛けの意義と課題についての提言。(4)各県の取り組みを参考にしながら、中四国地方のユネスコスクールの参加教員が「持続可能なESDの仕組みと仕掛け」についての考えを深めていくようなディスカッション。

3. 成果・意義

ESDの発展は、より多くの教員が日々の教育活動の中にESDを取り入れていくことから始まる。このことは何よりも重要である。しかし同時に、ESDを継続・発展させるには、持続可能なESDの仕組みと仕掛けを中長期的な視野をもって創造することが求められる。このことはコロナ禍の現状においてはいっそう注目されるべきである。

今回の大会を通して、中四国地方のユネスコスクールの抱える課題のうち、ESDの継続性とそのため教員研修・教員養成のあり方に対する示唆が得られる。ユネスコスクール卒業生の生の声を聴くことにより、いずれの教育段階の教員も、ESDやユネスコスクールの意義について改めて実感し、それらを発展させていくうえでの新しい視点を獲得することが期待できる。しかも中四国地方の各県の教育施策や教育に関わる社会的背景を踏まえた相違

点や共通点が明らかとなることで、具体性と実効性をもった「持続可能なESDの仕組みと仕掛け」のヒントを得ることができる。

4. 概要

- 事業名 令和2年度文部科学省委託事業「ユネスコ未来共創プラットフォーム事業」
令和2年度ユネスコスクール中四国ブロック大会
- 主 題 持続可能なユネスコスクールとESD－その仕組みと仕掛け－
- 主 催 岡山大学大学院教育学研究科、ユネスコ・アジア文化センター、文部科学省、
日本ユネスコ国内委員会
- 共 催 広島大学教育学部ユネスコスクール委員会、広島市立大学国際学部、
福山市立大学
- 後 援 鳴門教育大学
- 日 時 2020年11月28日（土曜日）13:00-16:30
- 会 場 オンライン（Zoom）による開催
- 対 象 中四国地方のユネスコスクールの教員ほか
- その他 ・ウェブサイトとチラシによって広報し、参加受付を行う。
・ユネスコスクール全国大会（12月6日（日））において今大会の成果を報告する。
<http://www.jp-esd.org/conference.html>

プログラム

- 12:30~13:00 チェックインタイム
- 13:00~13:10 開会
主催者挨拶 三村由香里（岡山大学大学院教育学研究科 研究科長）
趣旨説明 藤井浩樹（岡山大学大学院教育学研究科 ESD 協働推進室）
- 13:10~13:50 リレートーク「ユネスコスクールとESD－私の現在と未来－」
ユネスコスクールの卒業生（岡山県ユネスコスクール高校ネットワーク 学生スタッフほか）
岡山県のユネスコスクールから 高木 潤（岡山県立矢掛高等学校）
- 13:50~14:30 事例発表「持続可能なユネスコスクールとESDの仕組みと仕掛け」
広島県のユネスコスクールから 煙井 成（広島県立安古市高等学校）
愛媛県のユネスコスクールから 河野義知（愛媛県立新居浜南高等学校）
- 14:30~14:45 （休憩）
- 14:45~15:30 提言「ユネスコスクールとESDのさらなる深化に向けて」
柴川弘子（岡山大学大学院教育学研究科 ESD 協働推進室）
- 15:30~16:20 ディスカッション
中四国地方のユネスコスクールの参加教員
コメント 室 貴由輝（岡山県教育庁）
- 16:20~16:30 閉会
主催者挨拶 大安喜一（ユネスコ・アジア文化センター 教育協力部長）

開催事務局

岡山大学大学院教育学研究科 ESD 協働推進室

藤井浩樹（室長・教授） 電話 086-251-7637 email fujii-hi@okayama-u.ac.jp
長谷川めぐみ 電話 同上 email hasegawa-m@okayama-u.ac.jp